

2015年6月 展示

『実践！ホスピタリティの現場で働いた3教授』

外国語学部 教授 柳田義男 教授 志村良浩 教授 木崎英司

【柳田義男】

『日経トレンドィ』の「潜入！TREND SPOT」は、話題の施設を抜き打ちチェックする企画です。

オープン直後ではなく、登場から数ヶ月経った施設をあえて取り上げ「本当の価値」を見いだすのが目的の人気企画です。その中で「プロの目」は、それぞれ専門家によるコメントを掲載しますが、私は、2012年3月号「京急EX イン品川駅前」、2012年7月号「ファーストキャビン羽田ターミナル1」、2013年3月号「東京ステーションホテル」と、話題の宿泊施設を担当しました。

『早稲田学報』は早稲田大学校友会が発行するコミュニケーション誌です。2010年10月号では、ホスピタリティをテーマに各界で活躍する先輩方と座談会が行われ、その様子が掲載されました。

【志村良浩】

「私の受験対策」

航空業界への就職希望者向けに出版されていた月刊「翼」(出版社:つばさ社)の記事。

日本航空への就職活動の中で実践した面接対策の体験談を入社1年目にインタビューされた内容である。

「The Challenging New JAL 挑戦者宣言」

日本航空の完全民営化(1987年)後に発行された、就職希望者向けに総合職の業務内容のいくつかを紹介したパンフレットの一部分。

「総合職客室系」として日本航空に採用され、当時は国際客室乗員部に所属し、アシスタントパーサーとして国際線を乗務していたが、機内での業務やそのやりがいについてインタビューを受けた内容である。

【木崎英司】

私が紹介している3冊はいずれも私が24歳の頃のもので、こんな時期もあったんですね～！私が同僚の客室乗務員と表紙になっている「翼」という雑誌は既に廃刊になってしまいましたが、その当時の日本では珍しかった男性客室乗務員を特集したものです。その頃の日本航空の全客室乗務員数は約6000名、その内、男性客室乗務員は約300名と5%ほどの割合でした。

また、その他の2冊は、羽田空港＝函館空港の新路線開設にあたり、その初便に乗務し、各雑誌社の取材を受けた時のものです。白いサービングジャケットは汚れが目立ち、清潔感を保つのに苦労したことを思い出します。

みなさん、ホテルや航空業界の歴史を紐解いてみるのも楽しいですよ！